

たけのこ学級 国語科指導案

日時 12月20日 4校時

場所 学校図書館

1、単元名

冬休みに読む本を工夫して選ぼう。

2、単元の目標

- ・自分の読書パターンを認識し、どのような本を好んで読んでいるかを知ることにより、違うタイプの本も探して読もうとする。
- ・望ましい読書週間を身につける。
- ・

3、単元の評価基準

関心・意欲・態度	読む	言語に関する知識・理解・技能
今まで読んできた本を見て、内容を思い出して分類しようとしている。	① 読んできた本について短くコメントし、自分なりの感想言うことができる。 ② 自分がどういうジャンルの本を好んで読んでいるかを客観的に把握できる	本の分類について、ジャンルや文字の大きさや多さの違いについて比較検討できる。

4、単元（題材）について

- ・ 目的に応じた読書に関する指導事項について、低学年では、「カ 楽しんだり、知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。」をあげている。中学年では、「カ 目的に応じて、色々な本や文章を選んで読むこと。」があげられ、高学年では、「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。」が示されている。目的としては、楽しむことや調べること以外に、読みたい内容を絞って読む、書き手を絞って読むなどが考えられる。ここでは、読書の範囲を広げるために、学校図書館の利用方法を学び、今まで読んだ本を簡単に分類したり、友達に紹介したりするなどの活動を中心に行う。
- ・ 図書館では、漫然と本を選んでいるように思える。そこで、この単元では、自分はどのジャンル（分類）の本をよく読んでいるのか、とか、どれぐらいの厚さの本やどれぐらいの内容の本を読んでいるのかを客観的に知らせ、自分から進んでいろいろなジャンルの本を手取るようにさせたい。その際、我慢して1～2ページ読んでみて、面白くなかったら、無理して読まない方がいいことを話したり、教員や他の大人がどのように本を選び、どのような読み方をしているかの情報を与えたりして、児童の読書生活を充実させたい。

5、単元の指導計画及び評価計画

次	時	主な学習活動	支援	評価			
				関 心	読 む	言 語	評価規準 (評価方法)
一	1	今まで読んだ本を探す。 新しい本を借りる。	本を探し、写真に撮っておく	○	○		自分が今まで読んだ本を探そうとしている。 (行動観察)
	1 本 時	読んだ本を分類する。 コメントを書く 分類した中で一部の本を紹介する。	カードを用い、分類を しやすくする。			○	友だちの話を聞いたり、 自分が考えたことを発表 しようとしている。 (発言・ワークシート)

6、本時の学習

(ア) 目標

- ・ 今まで借りた本を分類し、自分が借りている本の傾向をつかむ。
- ・ 新しいジャンルの本や少し難しめの本でも挑戦して読もうとする。

(イ) 展開

時	学習活動と予想される児童の反応	支援	評価
⑤	あいさつ 本時の学習内容を知らせる。 6年生になって読んだ本を分類し、	学習のめあてを書く、ま たは、紙に書いておく。	
⑤	借りた本のカードを分類する。 ・ 同じ仲間の本に分けてみよう。 面白かった本とそうでない本 絵本とそれ以外	今まで読んだ本を分類 するワークシートを作 る。	分類の仕方 [観察]
⑤	ワークシートに分類したものについ てのコメントを書こう	ワークシートのコメン ト欄を大きめにとる。	ワークシート 自分なり子コメントを かけているか
⑤	お互い発表してみよう。 ・ どんなふうに分けてみたか。 ・ 分けた本の中で一部紹介する。 ・ 意見を交換してみる。 ・	2人でお互い情報を交 換する。 お互いの発表の中で気 づいたことなどの意見 交換を行う。	自分の考えを発表でき ているか。(行動観察)
⑩	先生の話聞く。 先生は2学期どのような本を読んで	実物の本を何冊か用意 し、1～2冊について担	

<p>⑩</p> <p>⑤</p>	<p>どのようなことを感じたかについて話す。</p> <p>また、司書の方の読書生活についても話をしてもらい、子どもたちの参考にする。</p> <p>本を探す観点を決め、実際に自分が読んでみたい本を探す。</p> <p>何故その本を選んだのかを発表する。</p>	<p>任の思いを聞く。</p> <p>自分に合わない本は無理して読まない</p> <p>司書の方にも話してもらおう。</p> <p>観点がわかる用にワークシートに欄を作る</p>	<p>普段いかないジャンルの本も探しているか (行動観察)</p> <p>決めた観点に沿って選んでいるか (ワークシート)</p>
-------------------	---	---	---

(ウ) 本時の評価

十分満足できると判断される状況	おおむね満足できると判断される状況	努力を要する状況への手立て
<ul style="list-style-type: none"> 自分がいつも読んでいるのと違うジャンルの本で、字が多いものや読みごたえのある本も読んでみようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がいつも読んでいるジャンルの本で、少し難しい程度のものに挑戦しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> お互いの意見を聞きながら、ほかにも面白い本があるということを知らせる。

ワークシート 月 日 名前 ()

グループ A	グループ B
どんな本？	どんな本？
どんな本を選びたい？	
ふりかえり	